

全国長南会通信 56号

事務局 : 300-0301 茨城県稲敷郡阿見町青宿 930 長南秀則 TEL/FAX 029-XXX-XXXX

発行日 平成 29 年 2 月 13 日



清水寺

2016年11月14日(月)~11月16日(水)、京都府大山崎在住の長南喜善さんの案内で、奈良、京都の歴史を巡る旅を3日間の行程で楽しんで来た。紅葉の時期の観光シーズンでもあり、宿泊先を探すのが一苦労だったが、何とか阪急電鉄烏丸駅近くのカプセルホテルを予約することができ、前日の13日の夜に京都に入った。烏丸は新幹線京都駅からでも歩いて15分ほどで、宿泊場所としては申し分なかった。翌朝、喜善



橿原神宮



橿原神宮

さん宅に近い長岡京に向かい、長岡天神駅迄約10分ほどで到着。喜善さんが車で迎えに来てくれた。初日は奈良方面に、まずは橿原神宮(初代神武天皇を祀る)へと車を進めた。空模様は芳しくなく、橿原神宮到着時は雨の中。参拝客もまばらで、ある種独特の雰囲気漂わせる神社を、ゆっくりとお参りできた。2頁、7、8頁に訪問先の写真を掲載したのでご覧いただきたい。

飛鳥石舞台古墳



十二柱神社



十二柱神社は野見宿禰が祀られている。狛犬の台座を4人の力士が持ち上げている珍しいもの。



垂仁天皇陵

右は矢印の位置で撮った写真。陵は池の中の小島に見えるが空から見るときれいな前方後円墳だ。



奈良東大寺



野見宿禰は垂仁天皇から土師姓を賜り、その後十代ほど後の高野新笠が光仁天皇の後となり、生まれた御子が桓武天皇だ。桓武天皇は平城京、平安京を築き、それに千葉県長南町の長福寿寺創建を勅願した。つまり、長南氏のご先祖に当たる。高野新笠のお墓は、宮内庁管理の下、右京区大枝沓掛町の山奥の石段をかなり上ったところにある。

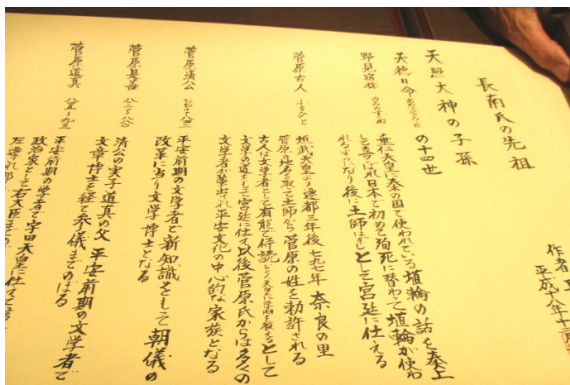
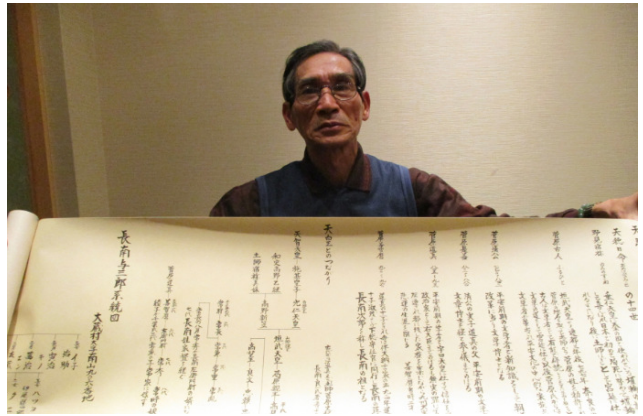


長岡天満宮



桓武天皇生母大枝陵(高野新笠墓)

長南喜善さんは山形県大蔵村出身で、会社の事業の関係で京都に移ったが、現在は引退され、京都近郊の大山崎に住んでいる。大山崎天王山の竹林の間伐などボランティア活動を行っている。ゴルフの腕前もかなりのもの。また、喜善さんは自分の系図を自筆でかいた巻物を完成させた。(写真)天穂日命～野見宿禰～菅原道真～. . . 自分と子供たちに至るものだ。子供たちや子孫に残すためだという。達筆で整然と書かれ



ているので「字がお上手ですね。」と聞いたところ、現役時代、京都伏見の光照寺で10年間、毎週1回、般若心経の写経や、本格的な書道の手習いをほとんど休まずに続けたという。長南氏の歴史にまつわる研究も熱心に行っている。喜善さんには、今回の取材旅行では、3日間とも車で主要箇所を案内していただき、大変感謝しております。2007年6月の長南町での会合で一度お会いしただけだったが、この度再会し非常に有意義な時間を過ごしました。ありがとうございました。



京都奈良取材地

11/14(月)奈良

1. 橿原神宮
2. 飛鳥石舞台古墳
3. 十二柱神社
4. 纏向珠城宮、相撲神社
5. 景行天皇陵
6. 春日大社
7. 東大寺
8. 菅原天満宮
9. 垂仁天皇陵(古墳)

11/15(火)長岡京～京都

10. 長岡天満宮
11. 大枝陵(桓武天皇生母、高野新笠)
12. 長岡宮跡地
13. 吉祥院天満宮

14. 嵐山、高雄パークウェイ
15. 小倉茶屋(峠)
16. 金閣寺
17. 北野天満宮
18. 文子天満宮
19. 京都御所
20. 菅公産湯の井戸 菅原院天満宮
21. 二条城
22. 平安神宮

11/16(水)長岡京～京都

23. 長岡京 細川ガラシャの居城跡
24. サントリー山崎工場
25. 淀君居城跡
26. 伏見稲荷
27. 清水寺
28. 五条大橋

太宰府天満宮をお参りして 長南喜善

今年の正月は全国的に近年にない暖かな正月を迎えられまして、何処も初詣の人々で賑わったようで、京都伏見稻荷大社は例年以上の人出で賑わい、お賽銭も国際色豊かな賑わいを見せていたとか。京都の観光地のみならず、全国的に各観光地は特に東南アジア諸国からの観光客が多く見られ、これも日本の文化と平和な国柄が好まれている象徴なのかも知れません。

昨年12月末に菅原道真公が晩年過ぎされた太宰府天満宮にお参りに行ってきました。京の都、京都御所宇多天皇の側近として、右大臣右近衛大将という栄達の大要職から、突然太宰権師に定められ、雅やかな京の都での生活からは考えられない太宰府での屈辱的は生活は、初めてお参りをさせていただいた私の心でさえも絶句するような苦痛を感じる思いでした。1100年程前の当時の情景を想像しても、雨漏りのする野中の一軒屋でどれ程京の都へ残した家族の事も思い上洛の日を待ち望み、恋慕を募らせていたことか。時には無実の罪ゆえに、藤原時平始め一族の讒言に強い怒りの思いも抱いたであろう。こうした複雑な思いを抱きながらの辛く寂しい太宰府での約2年間の生活の中でも現在多くの人々から崇拜される天神信仰、その基礎を磨いた2年の時間であったのかも知れない。



本殿をお参りし、境内の菅公歴史館内に流れていた懐かしい童謡が心を和わせてくれた。

通らやんせ通りやんせ
ここはどこ細道じや
天神様の細道じや
ちよつと通してくだしやんせ
ご用のない者 通しやせぬ
このこの七つのお祝いに
お札をおさめにまいります
行きはよいよい帰りはこわい
わいながらも通りやんせ通りやんせ

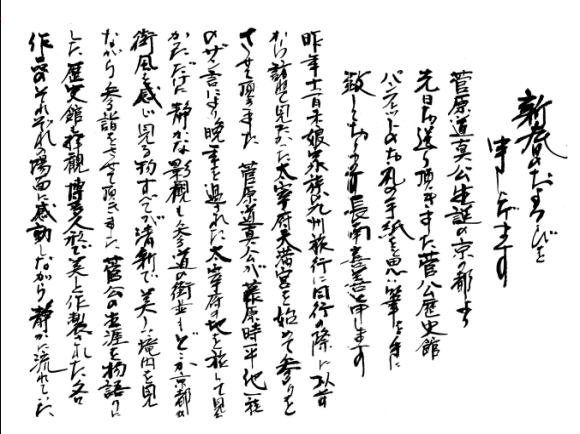
資料館の関係者に、この歌の作者生まれた場所等を尋ねてみましたが、昔からこの地に伝わっている童謡ですので詳しくはわかりませんとの事でした。1000年も昔のこと天神さんまでの参道は、山の麓で雑木林や田畑もあったであろうし、細い道があっても寂しい道だったのかもしれない。その昔、子供をさらって行く、子取りという事もあったとか？説明もしてくれました。私なりにこの童謡はこの地で生まれ全国で歌われるようになったのではないのかな、そんな気もしながちで太宰府天満宮を参拝してまいりました。

菅公歴史館には天神様の生涯が物語になっておりまして、博多人形で着飾り 道真公のそれぞれの場面を、きれいに美しく制作陳列されており、素晴らしい資料館でした。太宰府天満宮駅前参道は、非常に広く両側の歩道も含め約16m程、土産物屋さんの建物は京都の町や風に整然と建ち並び、縁日に見られる出店は一軒もなくとてもきれいな境内でした。機会があれば皆さんも是非お参りをして見てください。(京都府)

喜善さんが太宰府天満宮に宛てた手紙をご紹介します。右は1枚目をコピーしたもの。

昨年11月末、娘家族の九州旅行に同行の際に、以前から訪ねてみたかった太宰府天満宮を始めてお参りさせて頂きました。菅原道真公が、藤原時平他一族の讒言により晩年を過ごされた大宰府の地を旅してみたかっただけに静かな景観も参道の街並みも京都の街風を感じ、見るもの全てが清新で美しい境内を見ながら参拝をさせて頂きました。菅公の生涯を物語にした歴史館拝観、博多人形で美しく作成された各作品のそれぞれの場面に感動しながら静かに流れていた懐かしい童べ歌とおりゃんせを耳にしなが、京の都に残した家族のこと宇多天皇の信任も厚く側近として右大臣近衛大将という栄達の要職から突然に大宰府権帥という遠い地に貶められた屈辱的な生活を強いられ、どれ程京の都への帰りを待ち望み恋慕の日々に明け暮れたことか。千年も遠い昔の現実^{おのころ}に思いを馳せながら初めてのお参りをさせて頂いた私の心でさえも絶句する思いでした。いつの日か又参拝致したく思っております。

長南氏は菅原道真公11子善智麻呂が現在の千葉県長南町に地方官として着任の後、長柄郡の南に位置する荘園に土着、菅原姓から長南姓に改名されたのが始まりと伝えられています。長南一族の調査研究を続けてこられた中村就一氏が2巻にまとめられ、希望される一族に配布をして頂きました。山形県で生まれた私は自分の



先祖のことを全く知りませんでした。中村氏現在95才の講演を聴き、本にも目を通し、出雲の国譲り神話に出てくる天穗日命、野見宿禰の祀られております出雲大社から垂仁天皇の御前で相撲を取ったと伝えられている奈良県の相撲神社、垂仁天皇陵、菅原天満宮、長岡京遷都の後野見宿禰姓から菅原姓に改名された菅原古人公、清公、是善公、道真公と平安文化の中心的な活躍役割を担ってきた各地を訪ね自分の目で足跡を見聞してきましたが今回念願の太宰府天満宮をお参り出来ました事、本当にうれしく思います。長南会通信2月号の会報で昨年11月に関西地方の取材にこられた際に、道真公の先祖の歴史の地、奈良京都各地をご案内いただきましたので併せて長南会方々に紹介をいただけますのでとても楽しみにしております。

太宰府天満宮社務所御一同様
平成29年1月12日 長南喜善拝

日本三大天神

日本三大天神とは、北野天満宮・太宰府天満宮と3つ目が諸説あって、山口の防府天満宮や鎌倉の荏柄天神社、大阪の大阪天満宮等とされるが、それともうひとつが茨城県水海道(現在の常総市)の大生郷天満宮だ。延長7年(929年)菅原道真公の第3

子影行の創建といわれ、延喜3年(903年)道真公が大宰府に没した後、この地に足をとどめ遺骨を祀ったといわれている。初天神祭などには合格祈願の参拝客で賑う。6代目三遊亭圓生の落語「怪談累ヶ淵」の舞台にもなったこの地は、最近では鬼怒川の氾濫などがあったが、私の地元の身近にある神社である。(秀則)

会計報告

2016/01～2016/12

内 訳

	入金	出金
前年度残高	716,126	
会費	265,000	
利息	66	
その他の収入	42,000	
和泉守墓管理費		30,000
べに花まつり協賛金		20,000
通信印刷代		34,107
通信発送代		29,574
旅費交通費		108,923
通信費		1,246
接待交際費		5,810
事務用品費		21,824
図書費		1,080
支払手数料		7,591
雑費		56,757
合計	1,023,192	316,912
今年度繰越金		706,280

現金	39,150
普通預金	657,374
当座預金	9,756
合計	706,280

注)旅費交通費内訳

4月 東京蒲田	6,430
6月 長南町	19,730
9月 寒風沢	24,190
11月 京都	53,700

その他

雑費内訳

9月 400年祭	
土産代	17,308
供花代	5,000
現像代	2,590

11月 京都	
駐車料等	8,580
その他	

会費有難うございました。

茨城県 長南哲夫	10,000	10/21
長南武	2,000	11/19

平成29年度 年会費納入のお願い

振替用紙を同封しますので、年会費1口2,000円をお振り込みください。

郵便局のキャッシュカードをお持ちの方は、振替用紙を使用しないでATMから次の口座にお振り込みください。

全国長南会 記号 10650 番号 13085711

ATMからだど、手数料(会負担)が無料になります。

全国長南会の運営のため、ご協力お願いします。



昨年9月の和泉守400年祭の帰りの電車の中で、林武弘さんと長南充浩さんが中村さん宅を訪問しようと話し合い、長南会通信55号をお届けするときに、柏で待ち合わせ、合流した時の写真。後ろには「ひささん」の自画像。月曜、水曜、金曜、土曜の午後はレクリエーションなどの催しがあるので面会は難しいようだ。左から、充浩、林武弘、中村就一、秀則

2016/11/05(土)この日は、無理をお願いして面会できた。

写真集



長岡天満宮



長岡京跡



小倉茶屋



保津川展望台



外国人観光客で賑わう嵐山



金閣寺

京都御所建礼門



北野天満宮



二条城



細川ガラシャ居城



清水寺



菅原院天満宮の牛像



京都菅原院天満宮